

交通のご案内(十津川村役場まで)

- お車でお越しの場合
- 五條からR168を南へ70km(約1時間30分)
  - 新宮からR168を北へ60km(約1時間20分)
  - 白浜からR311を東へ本宮町を経由84km(約1時間40分)
- 電車・バスでお越しの場合
- 近鉄大和八木駅から奈良交通バスで約4時間
  - JR五条駅から奈良交通バスで約2時間30分
  - JR新宮駅から奈良交通バスで約2時間30分
  - JR紀伊田辺駅から龍神バスで本宮大社へ奈良交通バスで約3時間10分

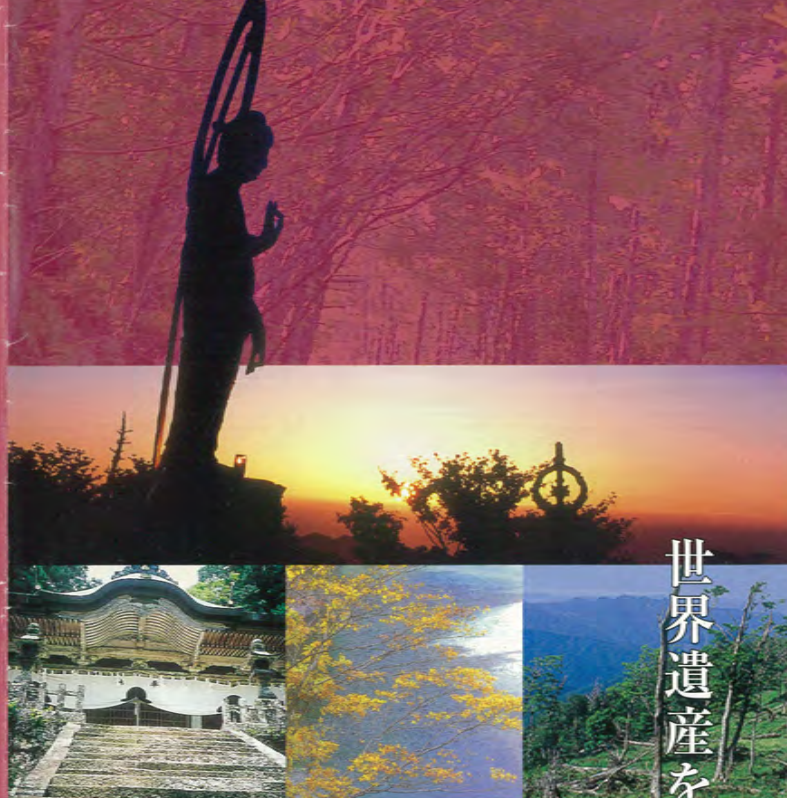
テレフォンガイド

■観光・宿泊情報	■道路情報
十津川村観光協会 0746-63-0200	五條土木事務所(十津川) 0746-68-0336
十津川鼓動の会(語り部) 090-8937-6920	五條土木事務所 0747-23-1151
吉野山観光協会 0746-32-1007	■交通機関情報
天川村総合案内所 0747-63-0999	近鉄旅客案内テレフォンセンター 06-6771-3105
熊野本宮観光協会 0735-42-0735	JR西日本お客様センター 0570-00-2486
■主な温泉施設	奈良交通株テレホンセンター 0742-20-3100
暁の郷温泉保養館「星の湯」 0746-64-1111	村営バス運行管理事務所(十津川) 0746-64-0408
十津川温泉「庵の湯」 0746-64-1100	熊野交通株(新宮) 0735-22-5101
南部老人憩いの家浴場 0746-64-0043	明光バス(白浜) 0739-42-3005
暁の郷温泉プール 0746-64-0762	龍神バス(田辺) 0739-22-2100
※公衆浴場は、すべて源泉かけ流し。	三光タクシー(十津川) 0746-64-0231
	熊野第一交通株本宮営業所 0735-42-0051

企画・編集

十津川村役場 観光振興課  
 TEL 0746-62-0004(直通)(土・日・祝日を除く) FAX 0746-62-0210  
 〒637-1333 奈良県吉野郡十津川村小原225-1  
 URL <http://www.vill.totsukawa.lg.jp>  
 E-mail [muradukuri@vill.totsukawa.lg.jp](mailto:muradukuri@vill.totsukawa.lg.jp) 2013.4.

世界遺産登山マップ  
**大峯奥駈道**  
 OOMINE-OKUGAKEMICHI



世界遺産を歩く。



紀伊山地の霊場と参詣道

奈良県十津川村

大峯奥駈道 [紀伊山地の霊場と参詣道]

大峯奥駈道は、標高1200m~1900mの急峻な山岳が連なる大峯山脈の主稜線を通り、吉野と熊野の二大霊地を結ぶ約170kmに及ぶ山岳道で修験道の開祖役小角によって開かれた修験道の根本道場です。ここを中心に我が国固有の信仰である修験道は1300年の歴史と文化を脈々と今に伝えていきます。



玉置神社の神代杉

大峯奥駈道には、大峯75靡(なびき)と呼ばれる霊地や行場が遺跡として各所に残り、祠や諸仏尊像などは良好な状態で保存・管理されています。十津川村にはこのうち35の靡(なびき)があります。

また、大峯奥駈道は、熊野から大峯に入るルートは順峯、吉野から熊野へ入るルートは逆峯と呼ばれ、逆峯は山上詣として、庶民の間にまで広がり一般化しました。

吉野山~熊野本宮大社 P2,P3

全長170kmのこのコースを踏破するには、7泊8日が標準な日程ですが、それぞれの山には登山コースが設定され、日帰りで楽しめるコースもあります。特徴のある山々を自分の体力にあわせ踏破していくのも、大峯奥駈道を歩く楽しみのひとつといえます。

大峯奥駈道は修験の道です。一般登山道ではありません。

① 釈迦ヶ岳・大日岳 P4,P5

続日本百名山に選ばれた釈迦ヶ岳を登るコースです。釈迦ヶ岳へのコースは、前鬼方面からもありますが、ここでは比較的やさしい釈迦ヶ岳登山口からのコースを紹介しています。峯中の秀峰といわれる釈迦ヶ岳をめざし、快適な登山が楽しめます。

② 玉置山周辺散策 P6,P7

玉置山へは折立から登るコースがありますが、ルートがわかりにくいので、ここでは玉置神社駐車場へ車を止めてから玉置山周辺を散策できるコースを紹介しています。各コースとも短時間で歩けますので、組み合わせを考えながら自然林の中を散策できます。



釈迦ヶ岳

大阪府



登山に当たっての注意

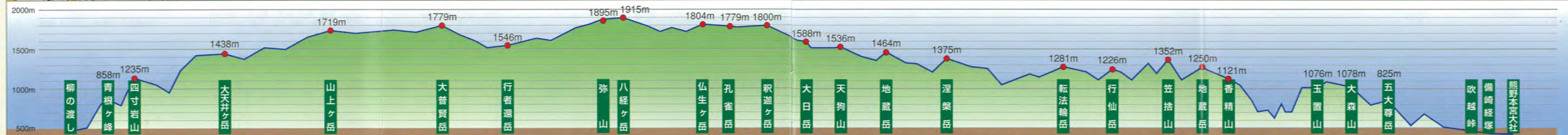
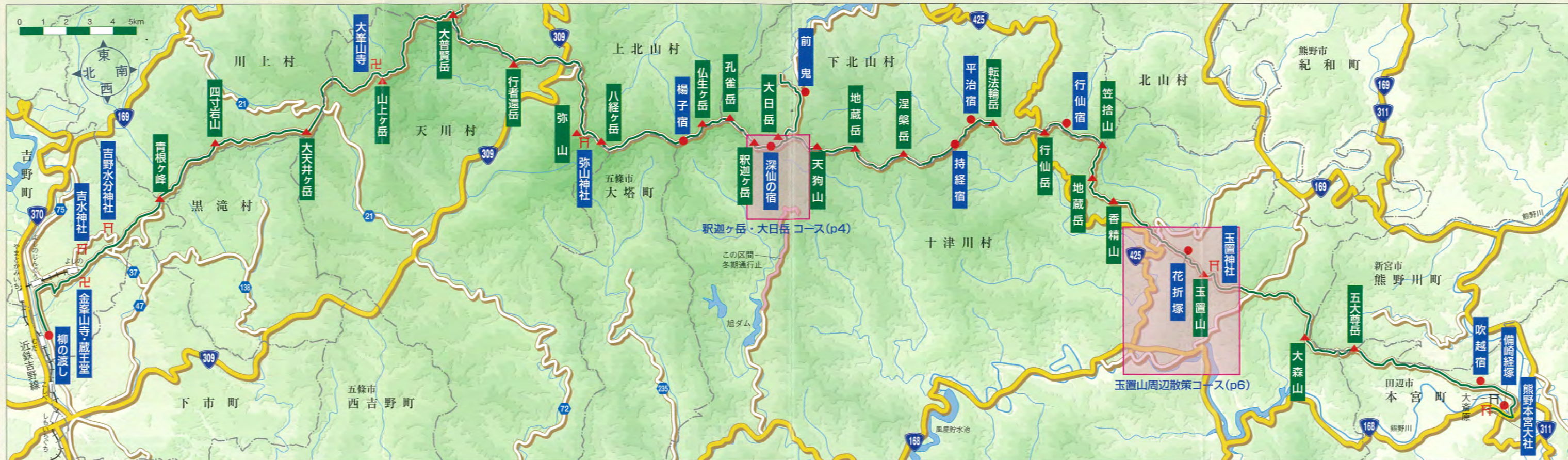
- 行程** あらかじめコースのみどころ、地形、距離、好ましい季節などを十分に調べて、自分の好みや体力にあったコースを選びましょう。行き帰りの乗り物の時間なども調べ、余裕のあるプランを組んで出かけましょう。
- 装備** 衣服: 帽子、長袖・長ズボン、履き慣れたトレッキングシューズやスニーカー。持ち物: 弁当、水筒、雨具、タオル、救急用品、ビニール袋、着替え、防寒具、コンパス、地図、あめ・チョコなどの甘いもの。\*持ち物は必要最小限にとどめ、すべてリュックに入れて背負い、両手があくようにしましょう。
- 天気** 天気予報に注意し、天候が悪いときは無理せず予定を変更して、天気の良い日にゆっくり歩きましょう。
- 行動** 山歩きは、少なくとも2人以上のグループで行動しましょう。歩く前には軽い体操などで身体をほぐし、歩く速度はグループの人達の歩くペースに合わせてみましょう。
- 心得** 山道などには、人に危害を及ぼす危険な動植物があることがあります。音の出る鈴などを必ず身につけましょう。特にクマ、マムシ、ハチやウルシなどには注意が必要です。



マナーを守って、楽しく歩きましょう。

- 入山時には、登山届を提出しましょう。
- ゴミ(弁当がらや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 参詣道沿いの植物を傷つけない、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。





周辺の  
みどころ



吉野山の桜 釈迦ヶ岳 釈迦ヶ岳頂上の釈迦如来像 深仙の宿 21世紀の森 花折塚 玉置神社 玉置神社の神代杉 熊野本宮大社



# 世界遺産登山マップ 釈迦ヶ岳・大日岳コース

歩行距離 **3.6km**  
歩行時間 **約4時間50分**  
所要時間 **約6時間50分**

## 五置山・宝冠の森コースP6 ▶



### ワンポイントアドバイス

- **スタート地点へのアクセス**  
五條方面からマイカーで、国道168号を南下。田長瀬トンネルを出て右折し、旭橋を渡って右折し、そこから約20km・所要時間1時間で新登山口に到着します。途中、林道旭線から、旭ダムを経て林道旭線・不動木屋線を通ります。登山口には、トイレと約10台分の駐車スペースがあります。林道不動木屋線は12月28日～3月31日の間、冬期通行止め。
- **コース途中の歩き方**  
新登山口からの登りは、整備が行き届き歩きやすい道です。最初は登り坂が続きますが、30分くらいで尾根道になり、不動小屋谷方面からの登山道と合流します。右に大日岳ブナ林の中を進み、正面に釈迦ヶ岳が見えてくると古田ノ森、ハイクイソウの群生する湿地帯を通り千丈平を過ぎ、右にかくし水を見て釈迦ヶ岳への登りになります。釈迦ヶ岳直下で奥駈道に出合い一気に登るとブロンズ製の釈迦像が立つ釈迦ヶ岳頂上に到着します。健脚コースはそこから深仙ノ宿までは南へ奥駈道を一気に下ります。深仙ノ宿で長めの休憩をとり聖天の森、五角仙を経て大日岳に到着します。ここから来た道を戻りますが、南へ下ると太古ノ辻を経て前鬼方面へ行くこともできます。
- **歩き終えたら**  
新登山口から源泉かけ流し温泉「十津川温泉郷」(湯泉地温泉・十津川温泉・上湯温泉)までは、車で約90分～120分。登山のあとは、各温泉でゆっくりとおくつろぎください。また、谷瀬の吊り橋までは、車で約40分です。  
お問い合わせ：十津川村観光協会 TEL.0746-63-0200

### 周辺のみどころ

**もみじ街道**  
もみじ街道は、国道168号・宇宮原から旭川沿いに旭ダムへ向かう約8kmの道で、もみじの葉が色づき始める11月初旬には、旭ダム湖畔の道沿い一面紅葉に彩られます。釈迦ヶ岳登山口は、もみじ街道をさらに奥に進んだところにあり、ハイキングシーズンには、各地から登山客が訪れます。



**釈迦ヶ岳と釈迦如来像**  
続日本百名山に選ばれた釈迦ヶ岳は標高1800m。急角度で立ち上がるピラミッド型の山容は、峯中一の秀峰といわれています。山頂の眺望は360°ささぎのものがなく、大峰山系随一の展望で大峰山脈のほぼ全容を見渡すことができます。また、山頂で迎えてくれるブロンズ製の釈迦如来立像は、天川村の強力「オニ雅」こと岡田雅行が大正13年夏、一人で担ぎ上げたものです。釈迦如来像は平成19年7月に修復完了。

**深仙ノ宿**  
大峰奥駈道には「宿」と呼ばれる修験者の行場があります。その中の一ツ深仙ノ宿は、今もなお、本山派(天宗修験)の根本道場として重要な行場です。釈迦ヶ岳から奥駈道を南に下った所にあり、近くには「万病に効く」という香精水が湧き出しています。

**古田ノ森**  
不動小屋谷出合を過ぎ、右前方に大日岳を見ながら尾根道を登っていくと、ブナの木が林立した古田ノ森に到着します。このあたりにはハイクイソウが群生していて、ブナ林の向こうには、釈迦ヶ岳の山頂も見えます。



# 世界遺産登山マップ 玉置山周辺散策コース

## 玉置山へのアクセス



## ワンポイントアドバイス

**●スタート地点へのアクセス**  
 五條方面からマイカーで、国道168号を南下。十津川村小原滝トンネルから国道425号に入るか、折立橋手前を左折、猿飼橋を渡る3つのルートがあります。玉置山散策には、玉置神社駐車場を利用し、出発するのが便利です。

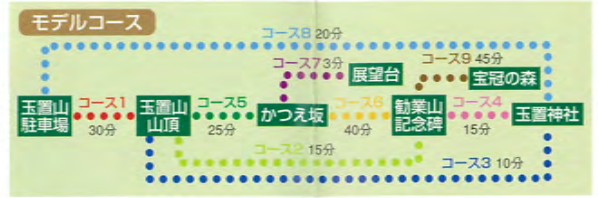
**●コース途中の歩き方**  
 玉置山一帯は県の自然環境保全区域に指定され、「日本の森林浴百選」のひとつに選ばれています。玉置神社周辺の巨木群やかつえ坂から玉置山に向かう世界遺産「大峯奥駈道」沿いの天然のフナ林など、玉置山の周辺散策コース9つを紹介していますので、それぞれを組み合わせお楽しみいただけます。

## 玉置山周辺 散策コース



## 各コースの所要時間

コース	登り	下り
① 玉置山駐車場 ↔ 玉置山山頂	約30分	約20分
② 玉置山山頂 ↔ 勸業山記念碑	約30分	約15分
③ 玉置山山頂 ↔ 玉置神社	約20分	約10分
④ 勸業山記念碑 ↔ 玉置神社	約20分	約15分
⑤ かつえ坂 ↔ 玉置山山頂	約30分	約25分
⑥ かつえ坂 ↔ 勸業山記念碑	約40分	約40分
⑦ かつえ坂 ↔ 展望台	約3分	約3分
⑧ 玉置山駐車場 ↔ 玉置神社	約20分	約15分
⑨ 勸業山記念碑 ↔ 宝冠の森	約45分	約40分



## 周辺のみどころ



**玉置神社**  
 玉置山の頂上近くにあり、本殿は高山の山中には珍しく豪壮な入母屋造りで、総檜材です。神仏習合の時代、境内には7坊15ヶ寺もの神宮寺があったといわれ、熊野三山の奥の院としてその名が知られました。現在、玉置神社の境内一円には神代杉をはじめ、巨杉が数多く生育していて、杉の巨樹群は県の天然記念物に指定されています。



**勸業山記念碑**  
 玉置山山頂近くにあります。明治15年、村の窮乏を救うため政府からの授産資金を産業復興資金として杉松の山林植栽にあて明治27年に完成。この山林は勸業山と呼ばれ、村の基本財産となり、一部は文武館財政の基盤となりました。これを記念して昭和15年(1940)建碑されました。



**南朝遺跡 花折塚**  
 玉置山の北の奥駈道沿いにあります。元弘2年(1332)大塔宮護良親王が十津川郷に落ちられたとき、熊野別当定通の軍勢と闘い、討ち死にした忠臣片岡八郎の墓所です。後年、道行く人々が八郎の忠義な心を偲び花を折って供えたところから折華塚、後に花折塚といわれるようになりました。

凡例

トイレ	駐車場
休憩所	道標
水飲み場	携帯感度アンテナ
見晴らしポイント	(DoCoMo) 本数